

池のいきものに迫る 危機を知ってください

殿山市民の森には、数多くの動植物が生息しています。

その中でも、この池には、アマガエル、ヒキガエル、ヤマアカガエル、さわがに、トンボの幼虫、さらにはなんと、蜚を見たなんて人もいます。

でも、そのいきもの豊かな池も、いま在来の生き物にとって、とっても住みにくい環境になっているのを皆さんご存じでしょうか？

自然の事を少しでも学んでいる人は、もうお分かりの通り、外来生物のアメリカザリガニと、それに餌付けをする人がいるため、この池は、在来の生き物が生息できない状態になっています。

餌付けをすると、ザリガニが増えるだけでなく、その餌を狙って鴨がきて、オタマジャクシなどを根こそぎ食べてしまいます。

いまつくし野殿山市民の森管理委員会では、この小さな池を再生すべく活動をしています。皆様もぜひ協力ください。



今月のいきもの活動！

ヤマアカガエルの産卵始まる！ これからカエルの恋の季節！

2022年1月末に観察！



殿山のこの小さな池には、数種類のカエルが生息しています。

- ・ヤマアカガエル
- ・アズマヒキガエル
- ・アマガエル(鳴き声だけ確認)

これからカエルは恋の季節、池にカエルを見かけたら、優しく観察してください。

※カエルの卵はそのままに。お子さんがオタマジャクシを持ち帰られた場合、家でカエルになったらぜひ池に戻してあげてください。カエルの飼育には生餌が必要で大変。

殿山いきもの ピックアップ！



アズマヒキガエル

池のザリガニについて

アメリカザリガニは...

いま日本中の湿地帯で、アメリカザリガニが問題視されています。

アメリカザリガニが増えた池では、他の生き物が生きていくことができないのです。

殿山の池も、今まさに危機的状態。今後もザリガニの対処を進めます。

